

第1章

高齢化の状況

第1節 高齢化の状況

○高齢化率は27.7%

- ・我が国の総人口は、平成29（2017）年10月1日現在、1億2,671万人（表1-1-1）。
- ・65歳以上人口は、3,515万人。
- ・65歳以上人口を男女別にみると、男性は1,526万人、女性は1,989万人で、性比（女性人口100人に対する男性人口）は76.7。
- ・総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は27.7%
- ・「65～74歳人口」は1,767万人、総人口に占める割合は13.9%
- ・「75歳以上人口」は1,748万人、総人口に占める割合は13.8%。

表1-1-1 高齢化の現状

単位：万人（人口）、%（構成比）

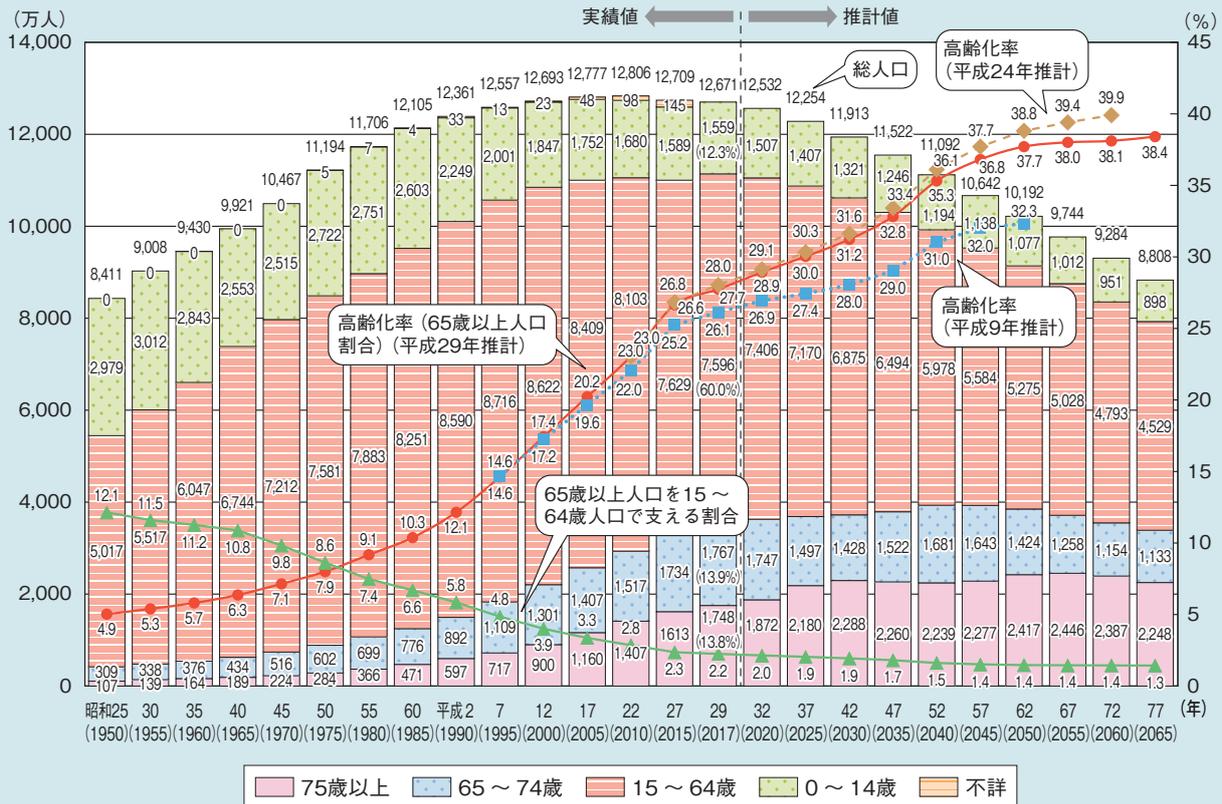
		平成29年10月1日		
		総数	男	女
人口 (万人)	総人口	12,671	6,166	6,505
	65歳以上人口	3,515	1,526	1,989
	65～74歳人口	1,767	843	924
	75歳以上人口	1,748	684	1,065
	15～64歳人口	7,596	3,841	3,755
	15歳未満人口	1,559	798	761
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0
	65歳以上人口(高齢化率)	27.7	24.8	30.6
	65～74歳人口	13.9	13.7	14.2
	75歳以上人口	13.8	11.1	16.4
	15～64歳人口	60.0	62.3	57.7
	15歳未満人口	12.3	12.9	11.7

資料：総務省「人口推計」平成29年10月1日（確定値）
 （注）「性比」は、女性人口100人に対する男性人口

○平成77（2065）年には、約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上

- ・総人口が減少するなかで、高齢化率は上昇（図1-1-2）。
- ・65歳以上人口は、「団塊の世代」（昭和22（1947）～昭和24（1949）年に生まれた人）が65歳以上となった平成27（2015）年に3,387万人となり、その後も増加傾向。平成54（2042）年に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じるが高齢化率は上昇傾向にあると推計される。
- ・平成77（2065）年には38.4%に達して、約2.6人に1人が65歳以上。
- ・5年前（平成24年）の推計と比較すると、人口減少の速度や高齢化の進行度合い（2060年高齢化率の推計について、今回推計では38.1%、前回推計では39.9%）は緩和している。
- ・平成27（2015）年には65歳以上の者1人に対して15～64歳の者2.3人。
- ・平成77（2065）年には、65歳以上の者1人に対して15～64歳の者1.3人。

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2017年は総務省「人口推計」（平成29年10月1日確定値）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。点線と破線の高齢化率については、それぞれ「日本の将来推計人口（平成9年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による、推計時点における将来推計結果である。

（注1）2017年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2015年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

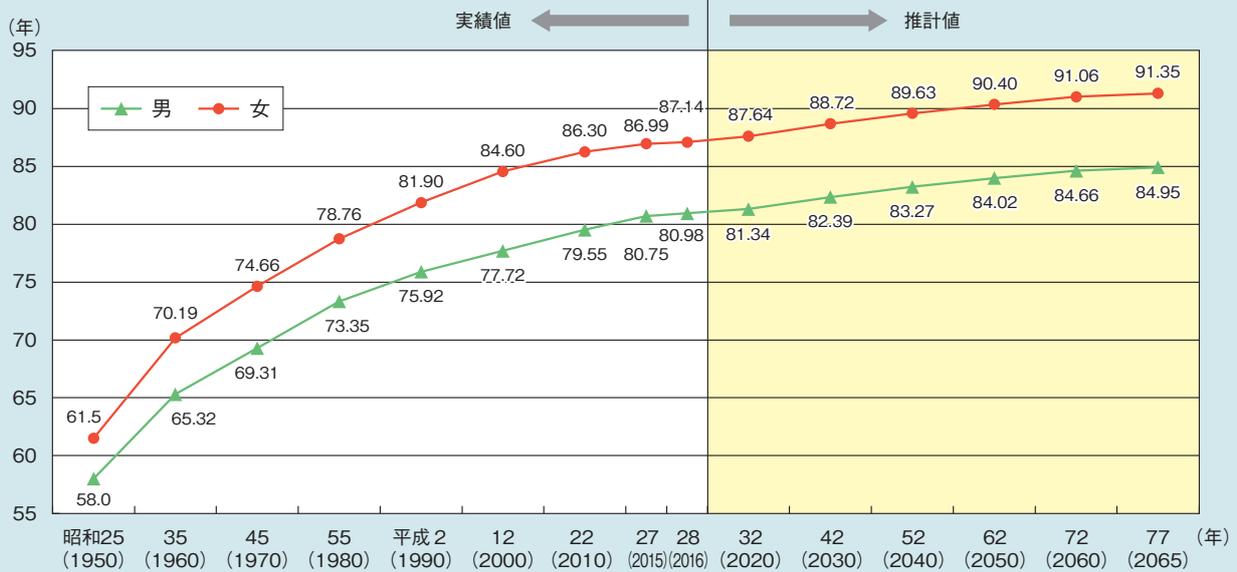
（注2）年齢別の結果からは、沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）を除いている。

（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じるものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

○将来の平均寿命は男性84.95歳、女性91.35歳

- ・平均寿命は、平成28（2016）年現在、男性80.98年、女性87.14年（図1-1-3）。
- ・平成77（2065）年には、男性84.95年、女性91.35年となり、女性は90年を超える。

図1-1-3 平均寿命の推移と将来推計

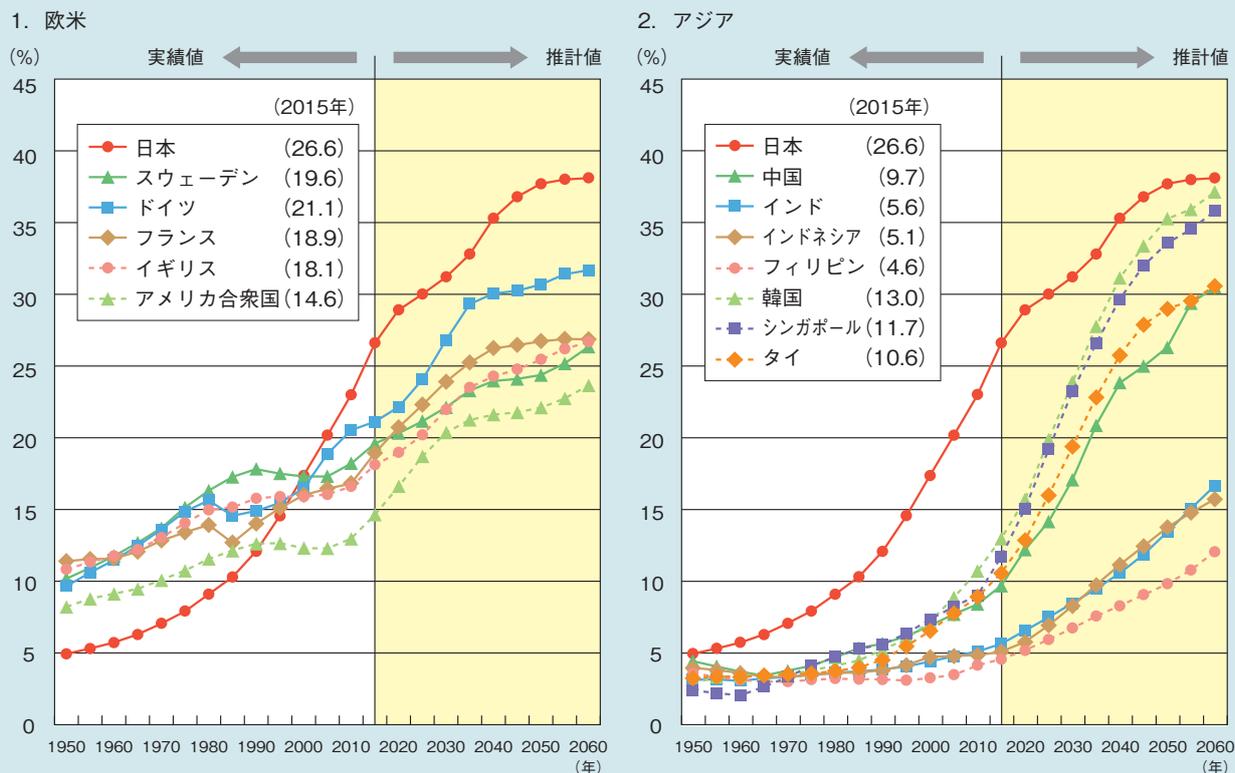


資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2016年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

○我が国は世界で最も高い高齢化率である

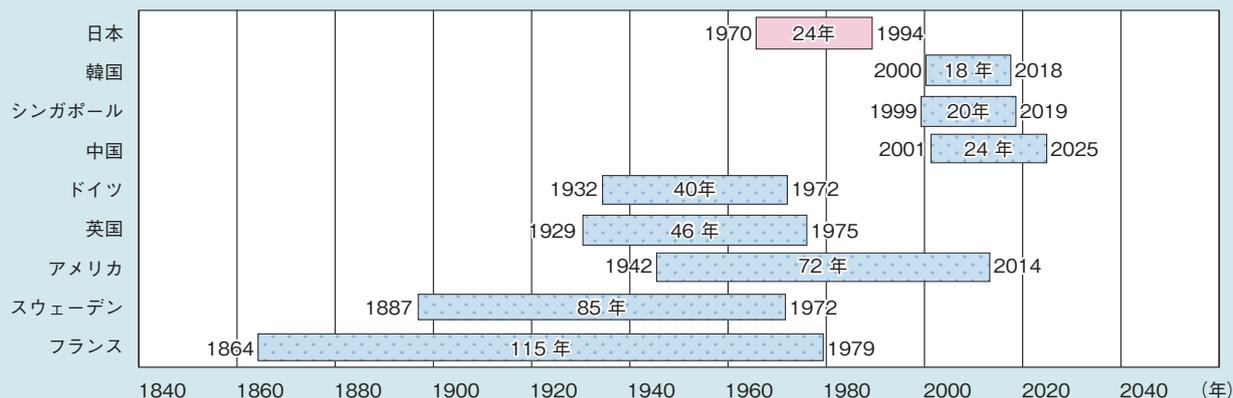
- ・先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は1980年代までは下位、90年代にはほぼ中位であったが、平成17（2005）年には最も高い水準となった（図1-1-4）。
- ・高齢化の速度について、高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数（倍加年数）によって比較すると、我が国は、昭和45（1970）年に7%を超えると、その24年後の平成6（1994）年には14%に達した。しかし、足元ではその伸率は鈍化している。一方、アジア諸国に目を移すと、韓国が18年、シンガポールが20年、中国が24年など、今後、一部の国で、我が国を上回るスピードで高齢化が進むことが見込まれている（図1-1-5）。

図1-1-4 世界の高齢化率の推移



資料：UN, World Population Prospects: The 2017 Revision
 ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」
 2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

図1-1-5 主要国における高齢化率が7%から14%へ要した期間



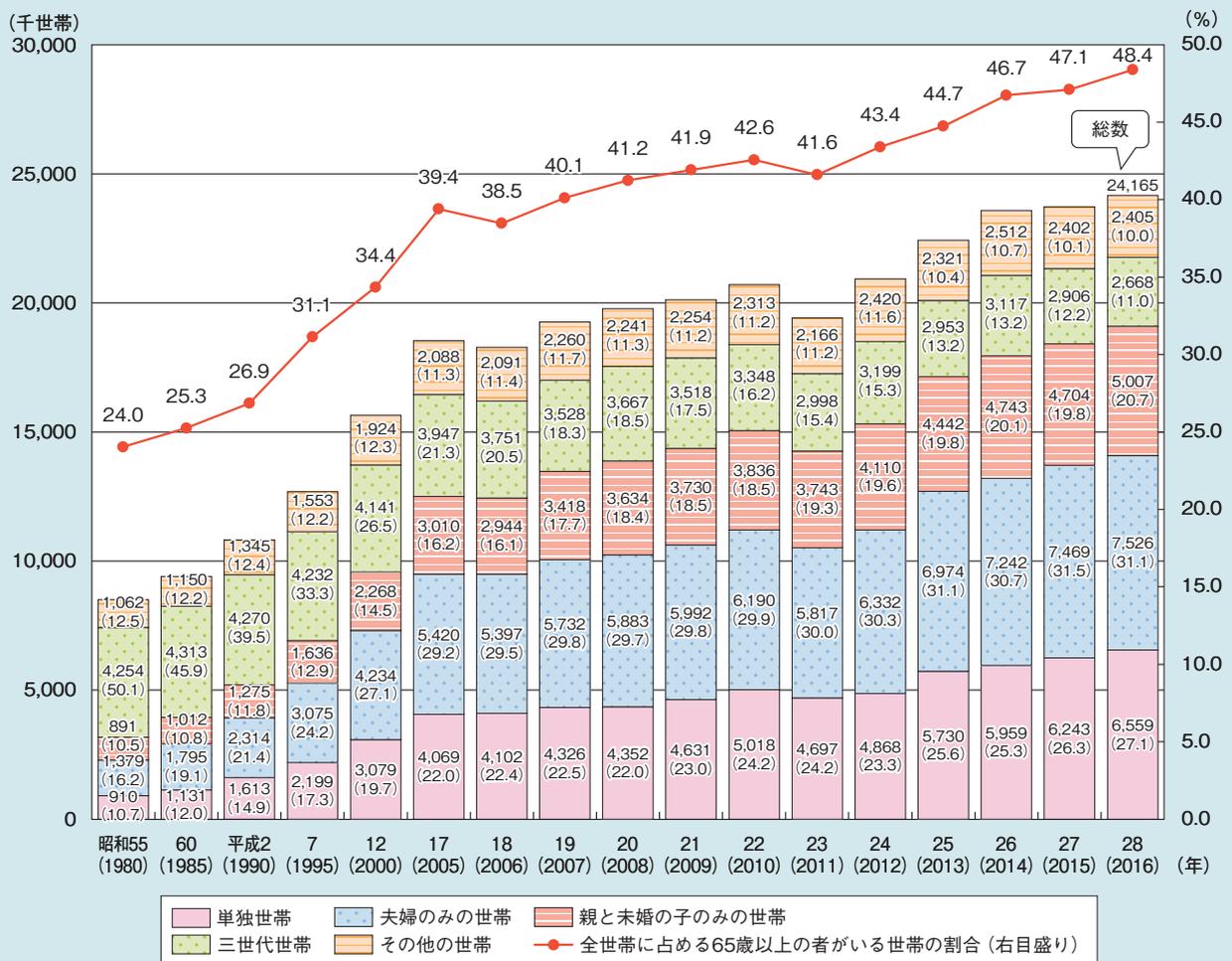
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」（2018年）
 (注) 1950年以前はUN, The Aging of Population and Its Economic and Social Implications (Population Studies, No.26, 1956) 及び Demographic Yearbook, 1950年以降はUN, World Population Prospects: The 2017 Revision (中位推計) による。ただし、日本は総務省統計局「国勢調査」、「人口推計」による。1950年以前は既知年次のデータを基に補間推計したものによる。

○65歳以上の者のいる世帯は全世帯の約半分、「単独世帯」・「夫婦のみ世帯」が全体の過半数

・65歳以上の者のいる世帯についてみると、平成28（2016）年現在、世帯数は2416万5千世帯と、全世帯（4994万5千世帯）の48.4%を占めている（図1-1-6）。

そのうち、夫婦のみの世帯が一番多く約3割となっており、単独世帯と合わせると半数を超える状況である。

図1-1-6 65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合（世帯構造別）と全世帯に占める65歳以上の者がいる割合



資料：昭和60年以前の数値は厚生省「厚生行政基礎調査」、昭和61年以降の数値は厚生労働省「国民生活基礎調査」による
 (注1) 平成7年の数値は兵庫県を除いたもの、平成23年の数値は岩手県、宮城県及び福島県を除いたもの、平成24年の数値は福島県を除いたもの、平成28年の数値は熊本県を除いたものである。
 (注2) () 内の数字は、65歳以上の者のいる世帯総数に占める割合 (%)
 (注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

○地域別にみた高齢化

- ・平成29（2017）年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で35.6%、最も低い沖縄県で21.0%となっている。（表1-1-7）。
- ・平成27（2015）年を基準年として、都市規模別に65歳以上人口の推移をみると、都市規模が大きいほど65歳以上人口の伸びが大きい見込み。一方で、「人口5万人未満の都市」では、平成32（2020）年をピークに人口は減少し、平成27（2015）年時点よりも65歳以上人口は減少する見込みである（図1-1-8）。

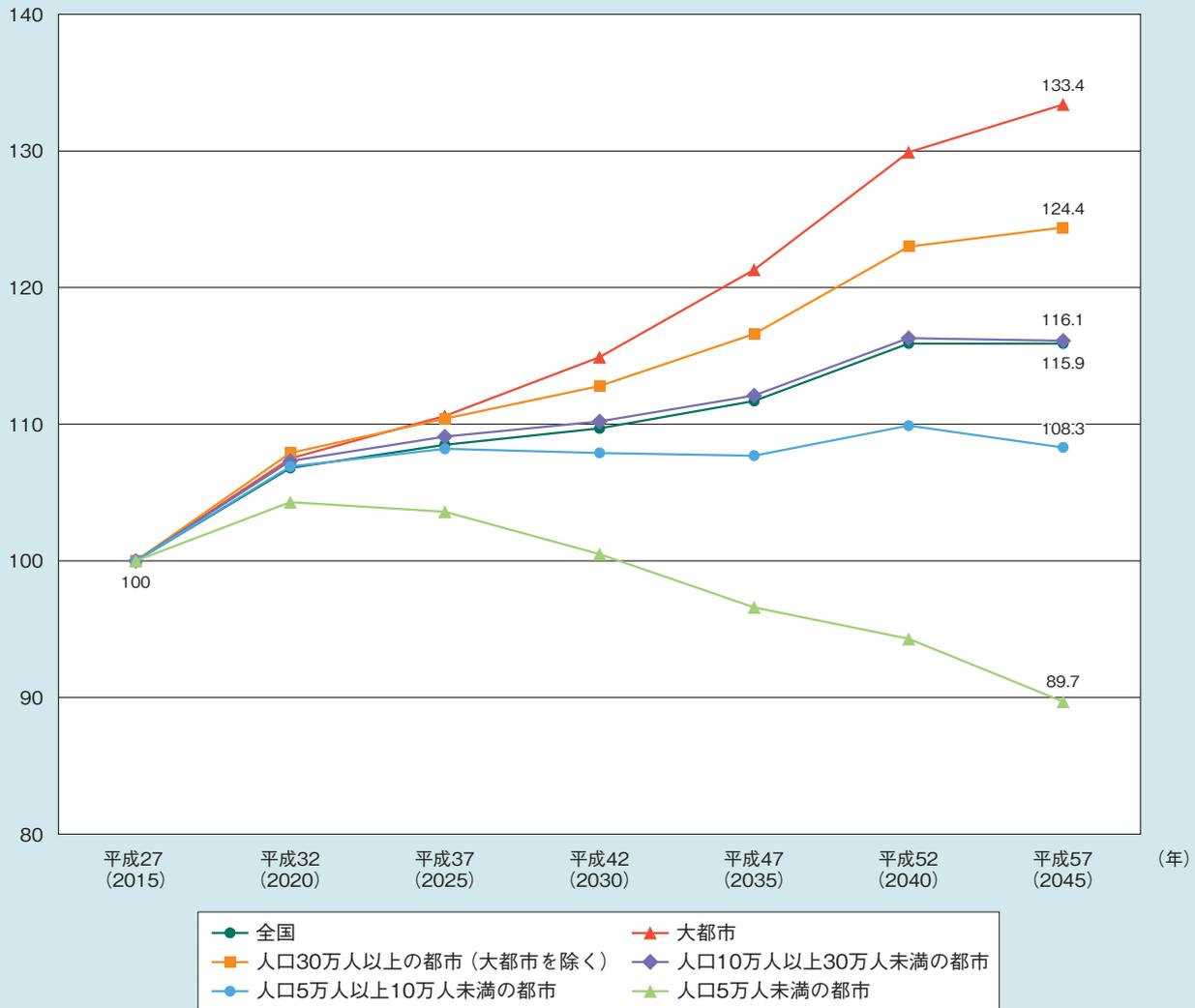
表1-1-7 都道府県別高齢化率の推移

	平成29年 (2017)			平成57年 (2045)	高齢化率の伸び (ポイント)
	総人口(千人)	65歳以上人口 (千人)	高齢化率(%)	高齢化率(%)	
北海道	5,320	1,632	30.7	42.8	12.1
青森県	1,278	407	31.8	46.8	15.0
岩手県	1,255	400	31.9	43.2	11.3
宮城県	2,323	631	27.2	40.3	13.1
秋田県	996	354	35.6	50.1	14.5
山形県	1,102	355	32.2	43.0	10.8
福島県	1,882	569	30.2	44.2	14.0
茨城県	2,892	819	28.3	40.0	11.7
栃木県	1,957	536	27.4	37.3	9.9
群馬県	1,960	567	28.9	39.4	10.5
埼玉県	7,310	1,900	26.0	35.8	9.8
千葉県	6,246	1,692	27.1	36.4	9.3
東京都	13,724	3,160	23.0	30.7	7.7
神奈川県	9,159	2,274	24.8	35.2	10.4
新潟県	2,267	709	31.3	40.9	9.6
富山県	1,056	334	31.6	40.3	8.7
石川県	1,147	331	28.8	37.2	8.4
福井県	779	232	29.8	38.5	8.7
山梨県	823	245	29.8	43.0	13.2
長野県	2,076	647	31.1	41.7	10.6
岐阜県	2,008	589	29.3	38.7	9.4
静岡県	3,675	1,069	29.1	38.9	9.8
愛知県	7,525	1,852	24.6	33.1	8.5
三重県	1,800	522	29.0	38.3	9.3
滋賀県	1,413	357	25.3	34.3	9.0
京都府	2,599	743	28.6	37.8	9.2
大阪府	8,823	2,399	27.2	36.2	9.0
兵庫県	5,503	1,558	28.3	38.9	10.6
奈良県	1,348	408	30.3	41.1	10.8
和歌山県	945	304	32.2	39.8	7.6
鳥取県	565	175	31.0	38.7	7.7
島根県	685	230	33.6	39.5	5.9
岡山県	1,907	567	29.7	36.0	6.3
広島県	2,829	809	28.6	35.2	6.6
山口県	1,383	462	33.4	39.7	6.3
徳島県	743	241	32.4	41.5	9.1
香川県	967	301	31.1	38.3	7.2
愛媛県	1,364	437	32.1	41.5	9.4
高知県	714	244	34.2	42.7	8.5
福岡県	5,107	1,384	27.1	35.2	8.1
佐賀県	824	240	29.2	37.0	7.8
長崎県	1,354	424	31.3	40.6	9.3
熊本県	1,765	531	30.1	37.1	7.0
大分県	1,152	367	31.8	39.3	7.5
宮崎県	1,089	338	31.1	40.0	8.9
鹿児島県	1,626	501	30.8	40.8	10.0
沖縄県	1,443	303	21.0	31.4	10.4

資料：平成29年は総務省「人口推計」、平成57年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

図1-1-8

都市規模別にみた65歳以上人口指数（2015年＝100）の推移

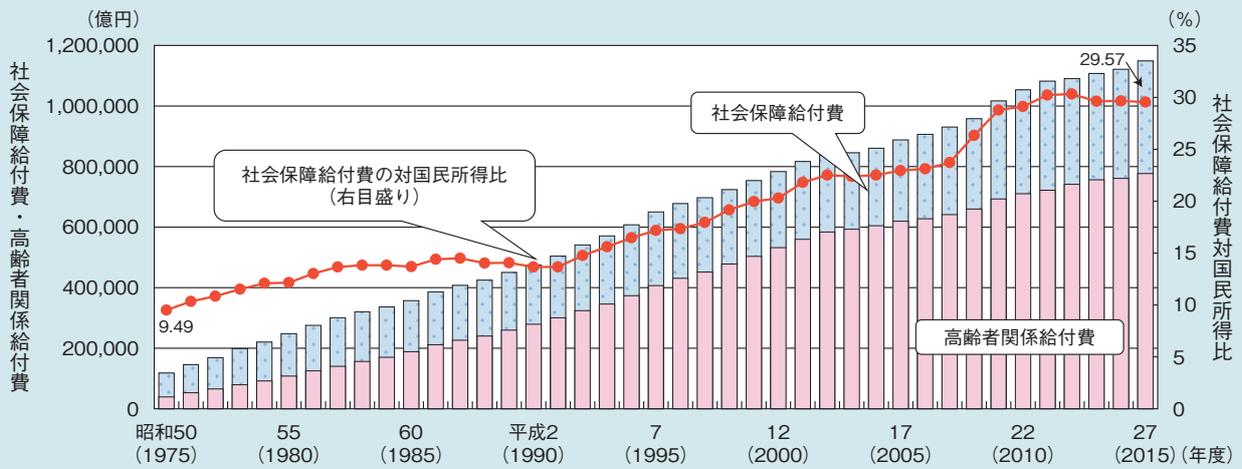


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」をもとに作成。
 (注1) 各カテゴリーごとに総計を求め、2015年の人口を100とし、各年の人口を指数化した。
 (注2) 「大都市」は、東京都区部及び政令指定都市を指す。
 (注3) 福島県のデータは含まれていない。

○過去最高となった社会保障給付費

- ・ 社会保障給付費（年金・医療・福祉その他を合わせた額）全体について、平成27（2015）年度は114兆8,596億円となり過去最高の水準（図1-1-9）。
- ・ 国民所得に占める割合は、29.57%（前年比0.08ポイント減）。
- ・ 社会保障給付費のうち、高齢者関係給付費について、平成27（2015）年度は77兆6,386億円、社会保障給付費に占める割合は67.6%。
- ・ また、平成27（2015）年度の年齢階級別1人当たり医療費（医療保険制度分）は、60歳から64歳で37.1万円であるのに対し、75歳から79歳で79.3万円、80歳から84歳で94.0万円（図1-1-10）。

図1-1-9 社会保障給付費の推移

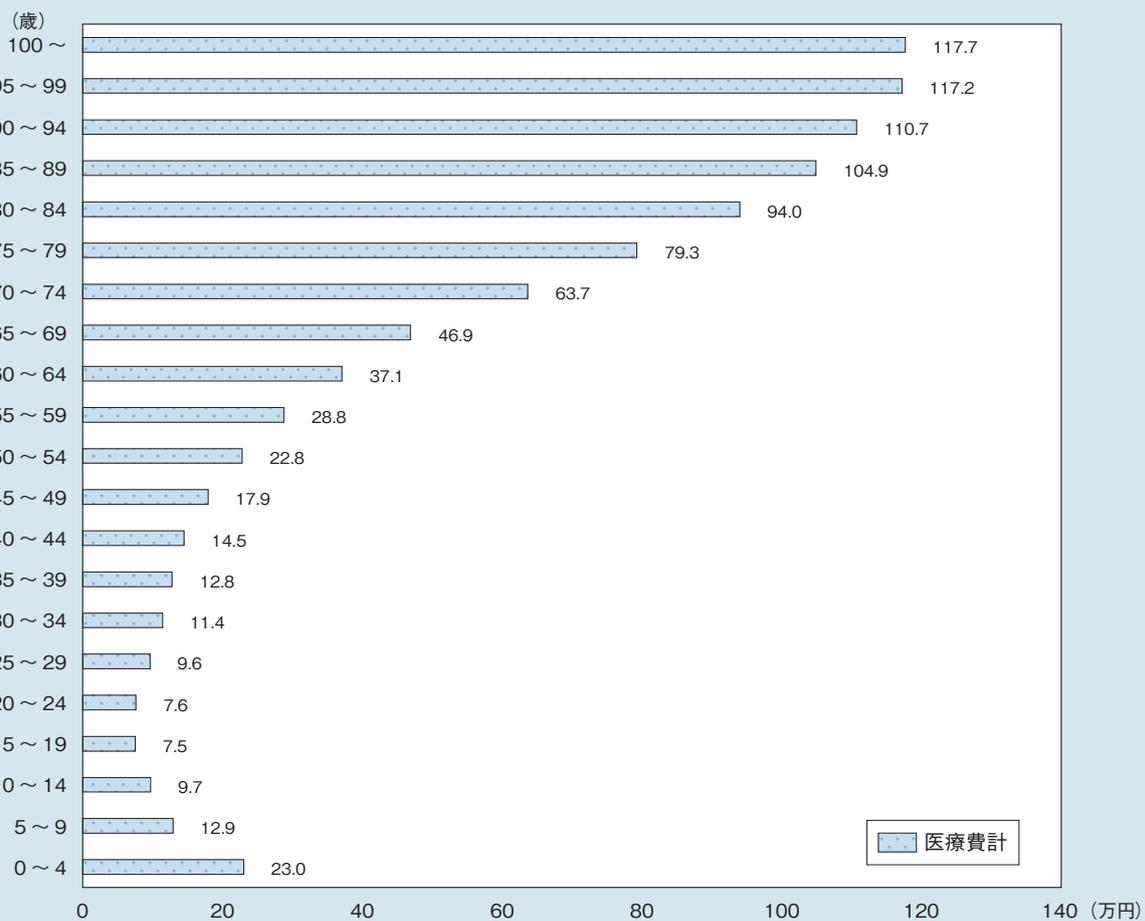


資料：国立社会保障・人口問題研究所「平成27年度社会保障費用統計」

(注1) 高齢者関係給付費とは、年金保険給付費、高齢者医療給付費、老人福祉サービス給付費及び高年齢雇用継続給付費を合わせたもので昭和48年度から集計

(注2) 高齢者医療給付費は、平成19年度までは旧老人保健制度からの医療給付額、平成20年度は後期高齢者医療制度からの医療給付額及び旧老人保健制度からの平成20年3月分の医療給付額等が含まれている。

図1-1-10 年齢階級別1人当たり医療費（平成27年度）医療保険制度分



出典：厚生労働省保険局「医療保険に関する基礎資料」

(注) 医療費計とは、平成27年4月～平成28年3月診療分の医療費のこと。